

老舗名	千疋屋総本店 C組 4班
Q.1	開店当時に売っていた商品は何ですか。
A.1	米・麦・蓮根・くわいなどの野菜や栗・まくわ瓜・西瓜・桃(千疋屋発祥の地は、武蔵の国越谷の庄千疋の郷、今の埼玉県越谷市東町です。当時は桃の産地として初代歌川広重が描く程有名な場所)。創業者の弁蔵がそこで採れた農作物を船に乗せ、日本橋葺屋町(ふきやちょう)：現在の人形町3丁目にあった歌舞伎の芝居見物にくるお客さんを目当てに商売を始めました。
Q.2	当時果物は高級品でしたか。
A.2	最初は『水くわし(水菓子：フルーツの事)安売り処』の看板を掲げ庶民的な商売をしていました。
Q.3	開店当時、どのような人が買っていたのですか。
A.3	最初の露店では、一般庶民がお客さん。その鮮度の良さと美味しさで庶民の喉と心に潤いをもたらしました。その後鎖国が解け、海外から様々な品物が入るようになり、高級路線に転じ、徳川將軍家御用達商人となります。明治になり近くに住んでいた西郷隆盛に西瓜を届けた事から、政財界とのパイプでがき、皇室御用達商人にも選ばれるようになりました。
Q.4	果物を輸入するとき、どのようなことに気を付けていますか。
A.4	色・形・味・鮮度のどれをとっても弊社の基準を満たした商品である事。絶対にクオリティを落とさない事。
Q.5	一番売れている商品は何ですか。
A.5	看板商品は『マスクメロン』。千疋屋と言えば・・・マスクメロンと言われる程有名であり、最も贈答用に定番で売れる商品です。
Q.6	高級なのに売れるのは何故ですか。
A.6	長い時間をかけて勝ち得たお客様との信頼関係。千疋屋の品物なら間違いないという品質と安心感の積み重ねが、商品に高くても買いたいという特別の付加価値を与えていると思います。
Q.7	メニューを考えるときに心がけていることは何ですか。
A.7	果物の素材の良さを最大限に引き出し、美味しさ・食べ頃を見極めたメニューを提供し、さすが千疋屋商品であるとお客様にご満足頂けるよう心がけています。
Q.8	これからどう発展させていきますか。
A.8	年齢層や国籍に関係なく、末永くお客様にお越し頂けるような陳列や接客を磨き、世界中のお客様から「やっぱり千疋屋の果実が一番ね。」と言って頂けるように努めます。
Q.9	国産にこだわっている商品はありますか。
A.9	やはり『マスクメロン』です。弊社が手塩にかけて育成した看板商品です。
Q.10	①どのようなお客様が多いですか。年齢層に特徴はありますか。 ②また、会社と個人ではどちらが多いですか。 ③外国の方も買いに来ますか。
A.10	①本店はビジネス街の為、ビジネスマンやOLの方々が良くお求めに来られます。 ②③絶対数では個人の方が多いですが、海外のVIPや企業の方は桁違いの注文をされますので一概には言えません。